

# 過半数の人が蝦名市長にNo!の投票



10月18日実施の釧路市長選挙の結果  
投票率43.66%(前回比+6.3ポイント)

松永としお	8,157票	得票率13.32%
えびな大也	29,956票	48.54%
つるま秀典	23,658票	38.34%

ご支援いただいたみなさんの期待にこたえることができず、誠に申し訳ありません。すべては私の不徳のいたすところであり、おわびの言葉もありません。

全道一の食品製造のまちづくりなど政策は市民の心にひびいた実感はありましたが、得票に結びつかなかったのは私の力不足です。申し訳ありませんでした。

今回の選挙結果の最大の特徴は、松永候補、つるま候補の二人の合計得票が、えびな候補を上回ったことです。二人の新人候補は主張に大きな違いはありませんが、「今の市政を変えたい」という市民が多数を占めたことは、選挙結果に明瞭に示されました。

蝦名市長は4選を決めたとはいえ、その実績と公約は市民の信頼を得たものとは言えません。むしろ、信任されなかつたとさえ言えます。つるま候補は、「蝦名市政はよくやっています」と評価できる。その8割は引き継いでやる。」と発言しています。蝦名市長を正面から批判し追い詰めた松永候補の論戦なしに、こうした結果は生まれませんでした。

日本共産党は4人の市議団を中心に、松永としおさんの公約の実現をめざして、市議会の内外で取り組みを更に強めていきます。

市長選挙の結果を受けて、共産党の村上和繁釧路地区委員長は次の談話を発表しました。

「松永としお市長実現のために、『明日の会』のみならず、党員、後援会員、支持者のみならず。本当にありがとうございませう。また、みなさんの期待にこたえられず、大変申し訳なく思っています。市民の市政を変えたいという強い願いと、論戦力抜群の得難い候補者に恵まれながら、結果を残せなかったことに強く責任を感じています。党の自力をつけて、総選挙勝利のために引き続き全力をつくします。」

## 大きな共感を広げた松永さんの訴え

①全道一の食品製造のまちに  
松永候補の「全道一の食品製造のまち」という提案は、特に市民の心をとらえました。

具体的な根拠も示さず、「10年後に20万人の人口を」と公約したつるま候補と違い、松永候補の訴えは実現可能性をもったものでした。食品製造業が今でも市の製造業の3割を占め、従業員が4割を占めていること。漁獲量は減ったとはいえ、多様な魚が取れ、酪農・農業からも多くの食材が提供できることなどの根拠を示しました。

こうした可能性とともに、市長の役割として、「なりふり構わず釧路産の食品を全国に売り込む」トップセールスを強調、市長となった際の決意も示しました。消極的な姿勢の今の市長との違いも鮮明になりました。

## なぜ、得票が8千台にとどまったのか

しかし、こうした論戦は蝦名市長を追い詰めるという点では大きな成果を發揮しましたが、松永候補の得票を大幅に伸ばすことには結びつけることはできませんでした。ここに、今回の選挙の最大の反省点があります。

### ①三つ巴の難しい選挙の中で基礎的な陣地は持ちこたえた

今回のように、釧路市長選挙が共産党公認・推薦候補も含め有力候補の三つ巴になったことは過去に三回あります。(96年、02年、08年)現職市長に新人が挑戦する場合、市政を変えたいという願いがより当選の可能性のある候補に支持が大きく流れることがありま

### ③次につながらるSNSなどの活用による新しい挑戦

コロナ禍ということもあり、初めて「明日の会」がブログを立ち上げ、松永候補の演説などを動画で配信したことは、次につながらるものでした。まだまだ、拡散する力が弱く不十分ですが、新しい領域に挑戦したことは、大きく評価できます。日常的にもこうした取り組みを強め、次の選挙ではさらに発信力のあるものに仕上げたいと決意です。

改めて、党の自力づくりにみなさんのご協力を心からお願ひします。

また、今回の市長選挙についても、たくさんのご意見をお寄せください。

ご意見は  
電話22-6121、  
ファクス25-4792、  
メール  
jcp-seikou@gol.com  
にお寄せください。

